



博物館通信

夏号



2021年7月発行 Vol.80

たくさんの流星が見える!?

今年見える流星群のなかで一番のおすすめは、三大流星群の1つ「ペルセウス座流星群」!!

ペルセウス座流星群は、毎年7月中旬から8月下旬にかけて見える流星群で、8月12日~13日ごろが★極大日となります。極大のときには、1時間あたり40~50個ほど見ることができるとされています。

今年も8月13日朝の4時ごろがピークになる予想なので、12日の夜~13日の夜明けまでが観察におすすめ!!今年、月明かりの影響がないため、たくさんの流星が見えると期待されています。ペルセウス座流星群が今年ほどいい条件で見えるのは8年ぶり!!ぜひ、晴れた空でたくさんの流星をみたいですね。

たくさんの流星が見えたら願い事もたくさん言える!!...かも。

★極大日...最も流星が多く見られる時間帯

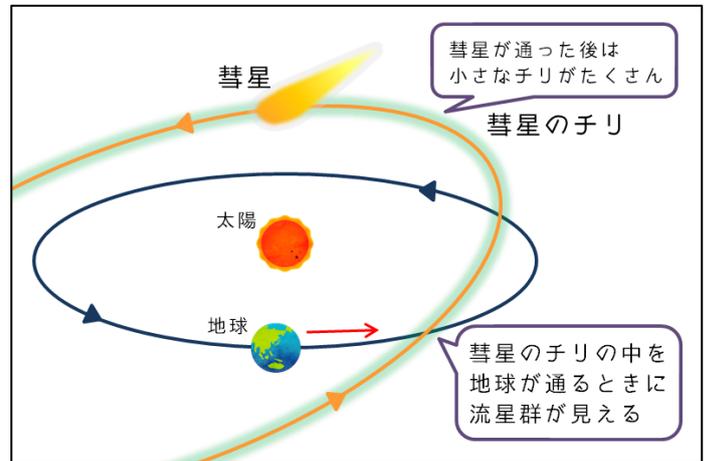


流星群って??

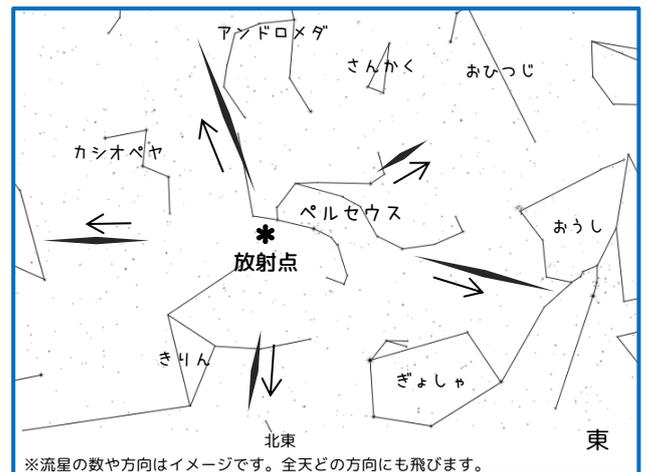
流星は、宇宙にある直径1mm~数cmほどのチリの粒が地球の大気と衝突することで、チリが燃えて輝きます。流星はいつ見えるかはわかりませんが、毎年決まった時期に多くの流星が見えるのが「流星群」です。

流星群のもと、主に太陽の周りを回っている彗星です。彗星の軌道には彗星がまきちらしたチリが残されており、その中を地球が通ると、星空のある一点から流星が放射状に飛び出すように見えます。その中心となる点を「放射点」と言い、放射点が位置している星座の名前から「〇〇座流星群」と呼びます。

流星群の中でも、毎年たくさんの流星が出現する流星群を「三大流星群」と呼びます。三大流星群は、1月の「しぶんぎ座流星群」、8月の「ペルセウス座流星群」、12月の「ふたご座流星群」です。



流星群のしくみ



ペルセウス座流星群 (ステラナビゲータで作成)

観察ポイント

① 場所

できるだけ街明かりがなく、空全体が見える場所。方角を気にせず、空全体を見ましょう。寝転んで見るのがオススメ!!



② 日時

極大日が一番のオススメ!!
ですが、天気が悪いことも…。極大日の前後数日間もたくさんの流星が見られます。
外の暗さに目が慣れるのに時間がかかるので、あきらめずに長い時間観察をするように!!

③ 準備物

- ・かい中電灯
- ・星座早見ばん (アプリなどでもOK)
- ・レジャーシート (寝転んで見る用)
- ・防寒着 (観測場所によって寒くなることがあります)
- ・虫よけ



※流星群を見るときには望遠鏡や双眼鏡は必要ありません





今と昔の暦

夏には、七夕や中秋の名月といった行事があります。それとともに“旧暦の7月7日（★伝統的七夕）”や“旧暦の8月15日”という言葉聞いたことはありませんか？その「旧暦」ってなんなのでしょう？



旧暦って??

現在、私たちが使っている暦(カレンダー)は、「太陽暦(新暦)」とって太陽の動きをもとにして作られています。明治5年までは「太陰太陽暦」とって月の満ち欠けをもとに作られた暦を使っていました。それを「旧暦」と呼んでいます。

旧暦では、月が新月になった日をその月の1日とし、翌日を2日と数えていました。新月から新月までは約29.5日。これを12か月だと、1年は約354日で、現在の1年より約11日短く、季節がどんどんずれていってしまいます。それを直すために、約3年に1度(19年間に7回ほど)「うるう月」という月を入れていました。なので、うるう月を入れた年は、1年が13か月あったのです。

七夕や中秋の名月といった行事は、旧暦を使っていたころから行われており、現代に続いています。しかし、旧暦と新暦にはずれがあります。なので、中秋の名月を“旧暦8月15日の月”や伝統的七夕は“旧暦7月7日”というようになっているのです。

★伝統的七夕

現在の暦になっても7月7日が「七夕」とされています。ですが、現在の7月7日は梅雨の時期で、星をなかなか見ることができません。なので、国立天文台は旧暦の7月7日を「伝統的七夕」と呼んで広めています。

今年の



伝統的七夕(旧暦7月7日)
8月14日



中秋の名月(旧暦8月15日)
9月21日

地域によっては旧暦の日付にあわせた行事もあるんだよ



イベント情報

※詳しくは当館HPをご覧ください

9/19
(日)

国立天文台
188 cm反射望遠鏡
浅口市民向け観望会

博物館のお隣にある国立天文台188cm反射望遠鏡で星を見ませんか？大きな望遠鏡で月や惑星を見るとどんなふうに見えるかな？

7/17
(土)

工作教室
望遠鏡を作ろう！

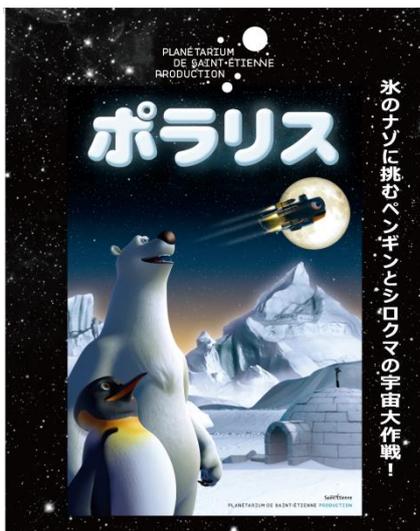
8/7
(土)

夏の観望会
～夏の星座と惑星を見よう～

※両日ともに事前申込みが必要です



プラネタリウム夏番組



「ポラリス」

「どうして北極や南極は半年も長い夜が続くの？」
シロクマのレナードとペンギンのジェームズが答えを探すため、潜水艦を宇宙船に改造して地球を飛び立ちます。
2人が宇宙で観察して分かった地球の傾きや火星、土星がどんな天体なのか、地球との違いなどを紹介します。
2人は疑問を解き明かし、無事、地球に戻ってこられるのか!?



岡山天文博物館

〒719-0232
岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
TEL/FAX 0865-44-2465

<http://ww1.city.asakuchi.okayama.jp/museum>

